▶**校　　名**……北海道の「北」、北区の「北」と「陵」―丘・山―を示し、新しい学校が「北海道の最高峰を志向して立派な学校に生々発展してほしい」という願いをこめて名づけられたものです。

昭和46念11月27日道立高校の新設を決定すると同時に道教委が道民から校名を公募し、156人の応募の中から石川美奈子さん、石垣公仁子さん、樋爪好雄さんの提案が採用されたものです。

▶**校　　章**……雪の三稜結晶を柱として北国の郷土性と白雪をもって剛健、質実、勇気、えい智を示し、三稜の三辺とペンの組合わせで、学問と北の山（陵）をあらわし、「高」を中心として角の頂点を通って三方に延びる線は、体力、気力、意欲を示すとともに、八方に生々発展することを象徴するものです。

この図案については、元札幌工業高等学校教諭上条一栄先生のご協力によるものです。

校　　訓

自　　立……人に甘えず自己の責任を自覚し、自己を確立する。

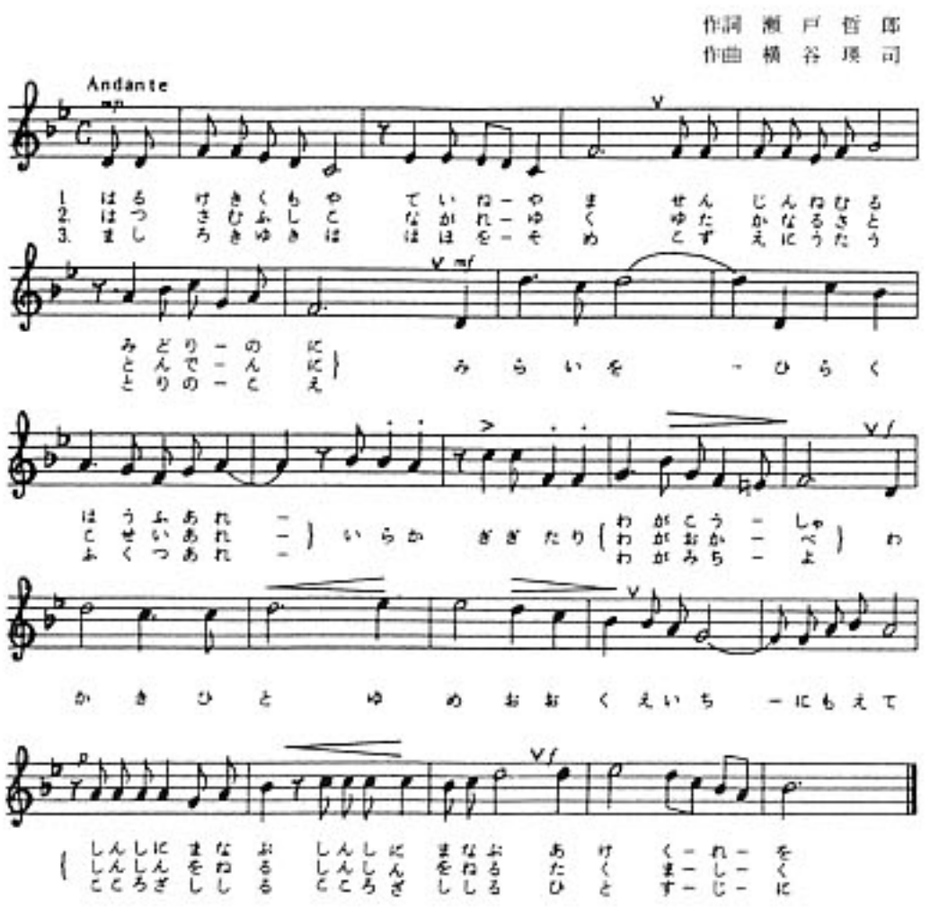
敬　　愛……思いやりの心を持ち、自己中心性を脱却する。

進　　取……常に前むきにとりくみ、自己を高める努力を怠らない。

開校10周年を記念し、全校生徒、全教職員の総意を結集して定めたものである。

（昭和56年７月24日制定）

北海道札幌北陵高等学校校歌



三　　二　　一

、はるけき雲や　　手稲山
先人ねむる　　みどり野に
未来を開く　　抱負あれ
いらか巍々たり　　わが校舎
若き人　夢おおく
えい智にもえて
真摯に学ぶ　　あけくれを

、発寒・伏籠　　ながれゆく
豊かなる郷　　屯田に
未来を開く　　個性あれ
いらか巍々たり　　わが丘べ
若き人　夢おおく
えい智にもえて
身心をねる　　たくましく

、真白き雪は　　頬を染め
梢にうたう　　鳥の声
未来を開く　　不屈あれ
いらか巍々たり　　わが道よ
若き人　夢おおく
えい智にもえて
こころざし知る　　ひとすじに

作詞者　東京高師国語卒
元．札幌藻岩高等学校長

作曲者　東京芸大卒
元．北海道教育大学札幌分校教授